



新春を迎えて

寒気ことのほか厳しくなりましたが、会員の皆様におかれましては新年をどのようにお過ごしでしょうか。昨年中は当会の活動に対し、ご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

当会では「がんをもっと身近にとらえて情報を知ることができるために」を主軸として、会員の皆様はじめ、一人でも多くの方々に、がんケアに関する正しい情報を伝えたいという思いで 2001 年より活動を続けています。

恒例の活動として、11 月 24 日には府中市民協働まつりに参加をしました。今回も東京都立がん検診センターの職員の皆様にご協力を頂き、マンモモデルによる乳がんの早期発見への啓発と共に、がんの冊子や関連するパンフレットの配布をしていただきました。

また、がんに関する子どもクイズやがんを防ぐための新 12 か条のチラシを配布、ウィッグの展示も行いました。ブース会場には 200 人を超える多くの来場者が、がんについて考えるきっかけになったと思います。会員の方や、がんサバイバーの方も声をかけて下さり、近況やがん体験を伺うこともできました。

12 月 8 日第 61 回目の講演会では、多摩総合医療センター・医療ソーシャルワーカーの渡邊美緒さんをお招きし「多摩総合医療センターにおけるがん相談支援センターの役割について」の講演をいただきました。

多摩総に通院、入院中の方のみならず、他院で治療中の方や、人間ドックや検診でがんが見つかった時など、がんと知って最も混乱する時期から途中経過においても話を聴いてもらえる環境がある事は大変心強いと思います。

多摩総合医療センターはがん診療連携拠点病院となって 11 年が過ぎましたが、今では、多摩地域におけるがん医療の中核となる医療機関として重要な役割を担っております。更に令和 7 年 4 月 21 日より新たながんの精密検査や早期治療に向けての機能もスタートするそうです。詳しくは講演会報告をご覧ください。

今年度も折り返し時になりますが、活動方針に沿って、皆様に信頼できる正しい情報や要望のある情報を発信するとともに、患者会での出合いやつながりを大切に、役員一同取り組んでまいります。

結びに、昨年と同様当会へのご理解、ご支援とご協力をお願いするとともに、皆様方がそれぞれの思いと目標に向かって今年も歩んでいかれますよう、役員一同心より祈念し、新年のあいさついたします。



講演会報告

「東京都立多摩総合医療センターにおける がん相談支援センターの役割について」

宮田乃有



2024年12月8日(日)14:00～15:30 プラッツ第1会議室にて、東京都立多摩総合医療センター 患者・地域サポートセンターの渡邊美緒先生(社会福祉士、精神保健福祉士)を講師にお招きし、上記講演会を開催しました。参加者は会場が24名(会員13名、非会員11名)、オンラインでの参加が4名でした。

東京都のがん対策

講演ではまず東京都のがん対策について説明がありました。「東京都がん対策推進計画」は令和6年3月に第三次改定がなされています。多摩総合医療センター(以下 多摩総)は計画のなかで「地域がん診療連携拠点病院」に位置付けられています。

利用できるサービス

院内には「患者・地域サポートセンター」という部署があり、「がん相談支援センター」はこのサポートセンターにある4つの部門のひとつです。

「がん相談支援センター」では患者さんやご家族の「がんに関するあらゆる相談」を無料で受けています。多摩総に通院中・入院中の方だけでなく、他院で治療中の方も利用できるそうです。相談は面談・電話のほか、オンライン(Zoom)でも対応しています。

専門相談(予約制)として、がん治療の認定看護師への治療や生活の悩み相談、がんの体験者への相談、社会保険労務士によるお金と仕事の相談会、弁護士による法律相談も設けられています。ご講演ではさまざまな相談事例のご紹介がありました。そのほか、乳がんの手術後の下着や、医療用のかつら、人工膀胱・人工肛門のある方の相談会などもあるそうです。「木洩れ日サロン」は多摩総でがんの治療中、あるいは経過観察中の患者さんご家族が語らう場です。

がん情報センターでは、これらの会の案内や受付のほか、関連図書の貸し出しも行われています。ぜひ一度立ち寄らせてみてはいかがでしょうか。

(ご予約・お問合せ:がん情報センター 042-323-5111(内線2277))

多摩総に通院されている方でも、がん相談センターの存在を知らない方がいらっしゃるのではないかと思います。しかし今後は「外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制を整備する」ことが必須要件となるそうです。

令和7年の4月、多摩総は敷地内にある東京都立がん検診センターの機能を統合し、PET-CTも含め新たな検査・診療体制となります。今後も身近な拠点病院としての機能と発展に注目していきたいと思います。



当日のレジュメ(講演要旨)はホームページに掲載しています。

12/8 講演会のアンケートによる参加者の声

～誰もが安心して暮らせる環境を共につくるために～

12月8日に行なわれた講演会では、多くの方々にご参加いただき、様々な声をお寄せいただきました。その概要と要望等に対する当会としての対応をお知らせいたします。

アンケートには13名の方々にご記入いただきました。参加者の年齢層では、40代が2名、50代が5名、70代が5名、80代が1名でした。性別では、女性が6名、男性が7名でした。



次に参加者の中で、がんとの関りについてお尋ねしたところ、がん経験者は10名でした。その中でも経過観察の方が4名、がん治療中の方が2名、完治された方は1名でした。また参加者のうち、がん経験者の家族が5名、友人ががん経験者だった方が1名でした。その他に、「友人ががんで手術をして、家族代理となった」という方も1名おりました。

また「無くて困った支援や情報」の欄では、「医院について」とお答えされた方が3名、「行政の支援」と答えた方が3名、医療関係者と答えた方が2名おり、その中でも「医師」と「相談員その他」と答えた方はそれぞれ1名でした。

「治療費などの経済的なこと」と「緩和ケアとホスピス」はそれぞれ1名でした。その他では、「予後回復のための支援体制」と答えた方がいらっしゃいました。

都立多摩総合医療センターの医療相談室内では「がん相談支援センター」が設置されており、対応時間は月曜日から金曜日の9時から16時となっております(042-323-5263)。当センターは、がんに関する相談を無料、匿名で行うことができる窓口です。がんの診断や治療、副作用、治療後の療養生活、お金や仕事、学校のこと、家族や医療者との関係など、さまざまな相談に対応していますので、お気軽にご利用いただければと思います。その他に「手術が適切なのか、術後、いろいろ本をみたりしたが、その後3年位経って、NHKで乳がんのレベルなどの詳細が出て、ようやく私が受けた手術に納得した」と記載された方がいらっしゃいました。

「不安・欲しい情報・支援等」についてお尋ねしたところ、「病院によって治療法の違いがあった場合は詳しく教えてほしい」、「終活と言いますか…不要なものを処分したいのですが。自治体の粗大ごみの対象外のを処分するのに安全な業者が知りたいです」、「家族や支援してくれる人がいない人の対応など」と記載された方々がおりました。

まず、病院によってがんの治療法の違いがある場合についてですが、がんの治療法には、主に「外科療法(手術)」「放射線療法」「薬物療法」の3大治療法があり、治療の一次選択は医師の判断と患者の希望によって決定されます。違いについては、担当の医師にしっかりとご説明をいただくことが大切だと思います。

次に「粗大ごみを処分するための安全な業者」ですが、府中市生活環境部資源循環推進課では、府中市一般廃棄物(ごみ)処理業許可業者一覧をHPで掲載しておりますので、ぜひともインターネットで閲覧いただければと思います。

また「家族や支援してくれる人がいない人の対応など」についてですが、厚生労働省では、2019年5月に「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」を策

定しました。これは、がん患者に限定したものではありませんが、詳しい内容については、「がん相談支援センター」でも対応が可能です。ぜひともお問い合わせいただければ幸いです。

最後に「当会への意見・要望」については、多くの方が今回の講演会の感想を述べていただき、当会への感謝の意を述べていただきました。同時に「独身者の情報が欲しい」という要望を頂きました。また「会員ではありませんが、地域の患者会という事で、心強いです」とのお言葉もいただき、大変嬉しく存じます。

「独身者の情報が欲しい」という要望についてですが、一人暮らしされているのは何でもご自身でこなせているという方が多いので、がんなど長期で治療を行う時に、「これからどうしたら良い?」「誰に聞けばよい?」となることが多いのだと思います。買い物サポートや受診・入院の付き添い、身元引受、保証人(病院によって)、郵便物の管理、医療者との話し合いの同席など介護保険では難しいサポートについて不安に感じることもあると思います。こういったサポートは、資金計画が行えていないと難しくなりますが、経済的にも厳しい状況の場合だと、生活保護を受ける事によって、抗がん剤治療やがんの摘出手術など、がん治療に関するすべての費用が医療扶助で賄われるため、がん保険に加入していなかった方や医療費が支払えない方でも、生活保護を受給することでがん治療を受けることができます。この件についても「がん相談支援センター」で対応が可能なので、お問合せいただければと思います。

この度は、参加者の皆様にアンケートにお答えいただき誠に有難うございました。当会としても、がん当事者やご家族、またご友人も含めて、出来る限り寄り添い、身体的精神的な負担が少しでも軽減され、自分らしく暮らせる環境を一緒に創るよう取り組んで参ります。

文責：稲津憲護

年会費のお願い

会費振込み用の用紙を同封しています。未納の方よろしくお願ひします。
恐縮ですが、振込費用は会員様でご負担をお願いします。

2025年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。

協働まつり、あんずまつり以外はリモートでの参加ができます。ZOOM使用。お問い合わせください。

日時	行事	会場
1月26日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
3月30日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
5月25日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
6月 1日(日) 午前10時～午後4時	あんずまつり	紅葉丘第2公園
6月29日(日) 午後1時～4時半	総会・講演会	ル・シーニュ6階・第1会議室
7月27日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
9月28日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第4会議室
11月23日(日) 午後1時半～3時半	患者会	ル・シーニュ6階・第7会議室 A
11月30日(日) 午前10時～午後4時	府中協働まつり	ル・シーニュ6階
12月 7日(日) 午後1時半～3時半	講演会	ル・シーニュ6階・第3会議室

編集後記

厳寒になりそうです。もっとも海水温は高く、これで豪雪になりそうです。ようやくPEFASが問題にされだしました。ご年齢、体調などにより2名の方が退会なさいました。これまでの会へのご献身、奮闘に心より感謝申し上げます。本年も患者会、講演会、総会と会える機会がたくさんあります。旧交を温めるお気持ちで参加してください。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org